やさしく　かしこく　たくましく

山本小学校だより

令和５年１２月２２日
Ｎｏ．１７
文責　宮村　まり

２学期も大変お世話になりました　皆様よいお年をお迎えください！

本日１２月２２日（金）、２学期の終業式を無事終えました。２学期も、いろいろな取り組みや行事があり、保護者の皆様には、直接的にも間接的にも、学校教育にご理解とご支援をいただきましてありがとうございました。学校外でも活動も多く、その中で、「あいさつ」「素直さ」「お世話のなった方への感謝の伝え方」など、山本の子どもたちの良さを感じる場面がたくさんありました。これから、１７日間の冬休みです。交通安全や健康には十分留意して、ご家族と一緒に健やかに楽しい冬休みを過ごせますよう願っています。年末年始ならではの経験をして、また一回り成長した子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

学校評価へのご協力　ありがとうございました

今年度の学校の取組や子どもたちの育ちに関する学校評価へのご協力、ありがとうございました。保護者の皆様、４～６年生の児童、評議員様、学校職員と、それぞれの立場から同じ項目についての評価を分析し、学校の今後の在り方を検討するための材料にします。今後も、子どもたちにとってはもちろん、山本小学校に関わる皆様にとって誇れる学校であるよう、取組んでいけるよう頑張っていきます。結果は後日、ホームページでお知らせします。

校長のつぶやき

～クリスマスの思い出～

最近、子どもたちと話していると「サンタにゲームソフト頼んだ」とか、「クリスマスにレゴを買ってもらうんだ」という話を耳にします。私が幼い頃も、12月はプレゼントには何をお願いするかという話題でもちきりでした。そして、「サンタがいるかいないか論」も話題になりました。我が家は、一応ツリーを飾り、ブッシュ・ド・ノエルを親子で作ったりして、クリスマス気分を味わってはいたのですが、サンタさんやプレゼントに関しては、母から「うちはクリスチャンじゃないからサンタは来んよ。」「プレゼントもない。」と、小さいころから言われていました。ちょっとませて現実的な子供でしたので、「ホントはサンタなんかいないよね…」と思ったりしていました。

でも、ある年のこと、驚くべき出来事があったのです。その頃、私は、巷で人気だった「ひみつのアッコちゃん」の変身コンパクトがとても欲しくて、買ってもらおうとしましたが上手くいきませんでした。家の近くのおもちゃ屋さんの前で、「買って、買って!」と「座り込み」をしてもダメでした。もう、あきらめかけていたクリスマスの朝、目を覚ますと、枕元のタンスの把手に、なんと「ひみつのアッコちゃん」のコンパクトが下がっているではありませんか!嬉しさと驚きで、母に「アッコちゃんのペンダントがあった!母さんがさげた?!」と尋ねると、「知らんよ」という答え。一緒に住んでいた叔母や祖母に聞いても、誰も知らないと言います。父や祖父とは思えないし、「誰?!」「なんで!?」と思いを巡らし、「ま、まさか…サンタさんがうちに来た?!」と頭の中で、グルグルと考えたのを憶えています。

その後、大きくなる過程で、いろいろなクリスマスを経験しましたが、その時のクリスマスのように印象深く、衝撃をうけた経験はありません。あの出来事は、私のクリスマス史上ナンバーワンです。

大人になって、母にその話をすると、「へえ、そんなことあったかな?」という答え。忘れたのか、まだとぼけ続けているのか、それとも本当に知らないのか…、真実は明らかになっていませんが、あの、ペンダントがタンスの把手にさがっていた光景は、何十年たっても、私の心の中に鮮明に、そしてあたたかなものとして残っています。

山本小の子どもたちも、冬休みのクリスマスや年末年始のご家族との行事で、たくさんの楽しい経験をし、心にのこる思い出をつくることと思います。また3学期に、楽しかったことや冬休みの思い出を教えてくれるとうれしいです。